

泊発電所3号炉 基準地震動の策定について

(令和5年2月24日審査会合における指摘事項に対する整理状況について)

令和5年3月8日
北海道電力株式会社

No.	指摘事項	整理状況
1	断層モデルを用いた手法による地震動評価ケースの選定において、Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとなる地震動については、施設への影響が大きいことを否定できていないため、一部のケースを基準地震動として選定しないとする考えを再考すること。	<ul style="list-style-type: none"> 基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとなる地震動のうち、最大となるのがごく一部の周期であり、他のケースで代表できると考え、代表ケースとして選定していなかった4ケースについては、会合での議論を踏まえて施設に影響を与える可能性が否定できないことから、代表ケースに選定することで整理する。 基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとはならないが、代表ケースとした5ケースについては、施設に与える影響を再整理して、代表ケースに選定する理由を明確にする、もしくは施設に大きな影響を与えないと考えられる場合には、代表ケースに選定しないこととして整理する。

審査項目	検討内容	2022年						2023年														
		2月			3月			4月				5月			6月							
		13	20	27	6	13	20	27	3	10	17	24	1	8	15	22	29	5	12	19	26	
基準地震動の策定	・全体																					
	①断層モデルを用いた手法による基準地震動の選定理由																					
超過確率の参照	・基準地震動の年超過確率の参照																					

2022年2月27日: ▼審査会合
 2022年3月13日: ▼面談
 2022年3月20日: 資料作成
 2022年3月27日: 説明期間
 2022年4月10日: ▼資料提出
 2022年4月24日: ▼審査会合
 2022年2月20日: 選定方針の検討
 2022年3月13日: 代表ケースの選定
 2022年3月20日: 基準地震動の設定
 2023年5月8日: ▼資料提出
 2023年6月12日: ▼審査会合